

MEU



ALLEN & HEATH

MEU



パーソナルミキサー用ハブ・ユーザーガイド

Publication
AP9209_20220719

■安全上のご注意

取扱説明書には、お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。以下の注意事項をよくお読みの上、正しくお使いください。

注意事項は危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った扱いをすると生じることが想定される内容を次の定義のように「警告」「注意」の二つに区分しています。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

警告

- 水に入れたり、ぬらしたりしないでください。火災や感電の原因になります。
- AC100V 50/60Hz の電源で使用してください。これ以外の電源では、火災や感電の原因となります。
- 必ず専用の電源コードを使用してください。これ以外のものを使用すると火災の原因となります。
- 付属の電源ケーブルを他の製品に使用しないでください。
- 電源コードの上に重い物をのせたり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張ったりしないでください。コードが破損して火災や感電の原因になります。電源コードが傷んだら（断線や芯線の露出など）、直ちに使用を中止し販売店に交換をご依頼ください。
- 水が入った容器や金属片などを、機器の上に置かないでください。こぼれたり、中に入ったりすると、火災や感電の原因となります。
- 万一、落としたり筐体を破損した場合は、直ちに使用を中止し、修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災の原因となります。
- 雷が鳴り出したら、金属部分や電源プラグに触れないでください。感電の恐れがあります。
- 煙がでる、異臭がする、水や異物が入った、破損した等の異常がある時は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼してください。異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。
- 分解や改造は行わないでください。お客様が保守できる部品は、内部にはありません。分解や改造は保証期間内でも保証の対象外となるばかりでなく、火災や感電の原因となります。

注意

- 不安定な場所に設置しないでください。落下によるけがの原因となります。
- 以下のような場所に設置しないでください。
 - ・直射日光の当たる場所
 - ・湿気の多い場所
 - ・温度の特に高い場所、または低い場所
 - ・ほこりの多い場所
 - ・振動の多い場所
- 機器をラックに設置する場合は、必ず専用のラックマウント金具を使用し、重量を支えるために全てのネジをしっかりと固定してください。落下すると、けがや器物を破損する原因となります。
- 配線は、電源コードを抜いてから説明書に従って正しく行ってください。電源コードを差し込んだまま配線すると、感電する恐れがあります。また、誤配線によるショート等は火災の原因となります。
- 電源を入れる前に、音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴覚障害などの原因となります。
- 機器の移動は、電源プラグをコンセントから抜き、他の機器との接続を全て外してから行ってください。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 電源プラグを抜くときに、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき火災や感電の原因となります。

■はじめに

このたびは本製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。

まずこちらの取扱説明書をお読みいただき、性能をご理解いただいた上で用途に応じた最適な使用方法を追求してください。

保証について

- ・ 保証書は必ず「お買い上げ年月日」「お買い上げ店名/所在地」の記入をご確認いただき、製品とともにお受け取りください。お買い上げ日より1年間は保証期間です。保証書記載事項に基づき、無償修理等を保証させていただきます。修理等はお買い上げの販売店までご依頼ください。
- ・ お買い上げ時に「お買い上げ年月日」「お買い上げ店名/所在地」が正しく記入されていない場合は、保証書が無効になり、無償修理を受けられないことがあります。記載内容が不十分でしたら、速やかに販売店にお問い合わせください。
- ・ 改造など通常の使用範囲を超えた取扱いによる故障や、設計・製造以外の要因で起きた不都合は期間内であっても保証の対象外となります。

故障かな？と思われる症状が出たときには

こちらの取扱説明書をもう一度お読みになり、接続や操作などをご確認ください。それでも改善されないときはお買い上げの販売店までお問い合わせください。調整・修理いたします。

1. 目次

1. 目次	3
2. ME-Uの概要	4
3. フロントパネル	5
4. リアパネル	5
5. ME-Uの設置	6
5.1 ラックまたはサーフェスマウント	6
5.2 入力カードの変更	6
6. ME-Uの接続	7
6.1 出力ポートの接続	7
6.2 ME-1の平行接続	7
6.3 ME-1のデジチェーン接続	7
6.4 ME-Uハブのリンク	7
6.5 LANケーブル	7
6.6 入力ソース: dLive、SQ、Qu、AR2412、 AB168、GLD(旧製品)	8
6.7 入力ソース: iLive ACE(旧製品、旧規格)	8
6.8 ME-U ACEカード経由のiLive	9
6.9 入力ソース: iLive mixer MMO(旧製品)	9
6.10 入力ソース: Aviom®A-Net16	10
6.11 入力ソース: その他のシステム	10
7. ME-Uの起動	11
8. ME-Uのセットアップ	11
8.1 ネットワークアドレスの設定	11
8.2 セットアップアプリケーションの起動	11
8.3 ME-Uネットワーク設定のリセット	11
8.4 ステータスページ	12
8.5 System Setupページ	13
8.6 Channel Setupページ	14
8.7 ファームウェアページ	16
8.8 セットアップを終了する	16
9. ME-U仕様	17
9.1 寸法	17
9.2 仕様	17
9.3 詳細情報	17

2. ME-Uの概要



注意: 接続ケーブルについて。

ME-U ハブを ME-1・ME-500に接続するには、LANケーブルが必要です。これらは ME-U には付属していません。要件を満たす適切な長さ及び仕様の機器接続ケーブルの詳細については、本書にて後述します。

MEパーソナルミキシングシステムは、ミュージシャン、演奏者、プレゼンターが、自分自身のモニター・サウンドをコントロールするための、柔軟かつ直感的に操作しやすいソリューションです。

ME-1パーソナルミキサー

- 最大40チャンネル
- ユーザーがアサイン可能なキー (User assignable keys)
- マスターリミッターと3バンドEQ
- 16 ユーザープリセット
- グループ・ファンクション
- チャンネル名の表示
- 3.5mmステレオミニジャックAUX入力
- 内蔵アンビエントマイク
- 内蔵シグナルジェネレーター
- スタンドブラケット付属
- ヘッドホンフック付属

ME-500パーソナルミキサー

- 最大16のモノラル/ステレオチャンネル
- オートキー・アサイン
- マスターリミッターと2バンドEQ
- 8 ユーザープリセット

ME-500およびME-1ミキサーは、同じMEシステム内で組み合わせて運用できます。

ME-Uは、Allen&Heath MEパーソナルミキサーで使用するツアーリンググレードの10ポートPoEハブです。複数のME-1またはME-500ミキサーに、PoE電力および最大40チャンネルのオーディオを伝送します。

ME-Uには、Allen&HeathデジタルミキサーまたはAviom®A-Net®ソースとシステム接続するための標準入力カードが付属しています。このカードは、他社製のミキシングシステムとMEを接続するためのオプションカードと交換できます。

概要:

- ME-1/ME-500を接続する10ポート
- さらに多くのポートにハブをリンク可能
- すべてのポートで使用可能な電源(PoE 802.3af Type1)
- ラッチロック付EtherCONコネクタ
- 標準的なME-D入力カードの動作システム:

dLive MEモニターポート
dSNAKE(Qu、SQ、各ミキサー)
Aviom®A-Net®16

※生産完了製品GLDミキサー(dSNAKEポート)及びiLive System(ACEポート)にも対応しています。

- 他のシステムに接続するためのオプションカード:

Dante
MADI

- セットアップ用ネットワークポート
- 名称とステレオリンクは、受信または手動で設定可能
- 頑丈な2Uラックマウント構造
- 静音冷却ファンを搭載

3. フロントパネル

10 出力ポート:最大10台のME-1またはME-500 パーソナルミキサーにオーディオおよび電源を分配します。10台以上のME-1ミキサーに接続する場合は、別のME-Uハブの入力にも接続できません。各ポートは以下を伝送します。

- 最大40チャンネルのオーディオ
- チャンネル名(ME-1のみ)
- チャンネルステレオリンク
- PoE電力(802.3af Type1)
- EtherCon接続
- ME-U出力は、Allen&Heath MEシステムのみと互換性があります。

入力ポート:MEパーソナルミキサーに送るソースを受信します。ME-D入力カードは、標準カードとして搭載されています。ME-Uを他のミキシングシステム、Dante、MADIに接続する場合のオプションカードをAllen&Heathは用意しています。

- ME-U入力は、24bit、48kHzオーディオのみで動作します。



各ポートの隣にあるインジケータはリンクが確立すると黄色に点灯し、点滅してネットワークのアクティビティを示します。起動中、またはエラーが検出されたときは赤色に点灯します。

Network Reset:ME-Uネットワークアドレスを工場出荷時のデフォルトにパワーアップリセットするための埋め込み型のスイッチです。

ME-D:標準入力カードです。dSNAKE接続で動作しているときは、Lnk/Actインジケータが点滅します。Aviom®を使用している場合は点灯します。※旧規格ACEもdSNAKEと同じ表示をします。

ネットワークポート:PCまたはMacコンピューターを接続して、システムセットアップとチャンネル名称を設定します。

4. リアパネル



電源端子:内蔵ユニバーサル電圧電源ユニット用のIECコネクタ、ヒューズ、ON/OFFプッシュスイッチです。AC100~240V、50/60Hzの電圧に対応しています。付属の電源ケーブルを使用してください。

- ME-Uに同梱されている適切な電源ケーブルを使用します。
- 不用意な脱落を防ぐために、プラスチッククリップを使用して電源ケーブルを固定します。
- 同梱している安全上のご注意、およびリアパネルに記載されているすべての警告に注意してください。
- 十分な冷却を確保するために、通気口を塞がないようにしてください。

5. ME-Uの設置

5.1 ラックまたはサーフェイスマウント

ME-Uは、平らな面に配置するか、標準の19インチラックにマウントすることができます。マウントには2Uラックスペースが必要です。

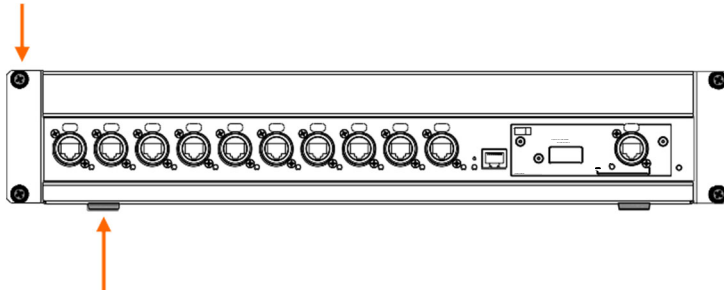
必要に応じて、マイナドライバーを使用して、プラスチック製の足を慎重に外します。

パネルを保護するためにラックマウントネジにワッシャーを使用して取り付けの事をおすすめします。

- デバイス周辺の換気は十分に行ってください。通気口を塞がないでください。

- ME-Uの取り付け、取り外し、入力カード取り付けの前に、ME-Uの電源を切っていることを確認してください。

保護カップまたはワッシャー付きラックボルト



サーフェイスマウント用プラスチック足

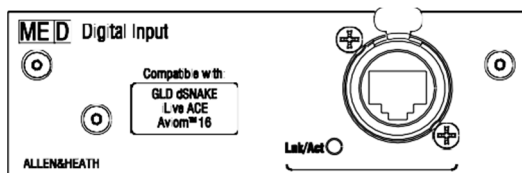
5.2 入力カードの変更

ME-Uには、ME-Dデジタル入力カードが標準装備されています。必要に応じて、別のカードに交換できます。

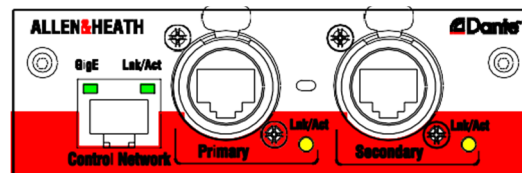
入力カードを交換する:

- まず、ME-Uの電源をOFFにしてください、念のため電源ケーブルを電源コンセントから抜いて外してください。
- カードの2本の固定ネジを外します。ME-Dカードを引き出し、内部のケーブルハーネスを抜きます。
- ケーブルを注意深くスロット内に折りたたみます。交換用カードは、内蔵ケーブルハーネスを使用しません。
- 新しいカードをスライドさせ、内部コネクタソケットにカチッとハマるまで押し込みます。
- 外した2つのネジで固定してください。

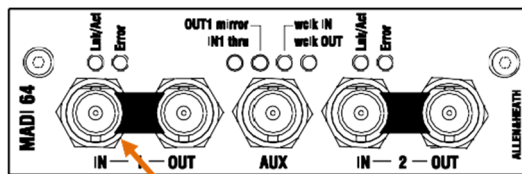
ME-D: dSNAKEまたはACE経由でAllen&Heathデジタルミキサー、およびAviom®A-Net16ソースに接続するための標準デジタル入力カード。



Dante: ネットワークプロトコル(48kHz)を介して他のシステムと接続するオプションカード。

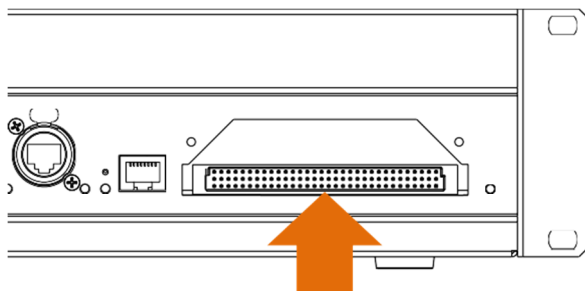
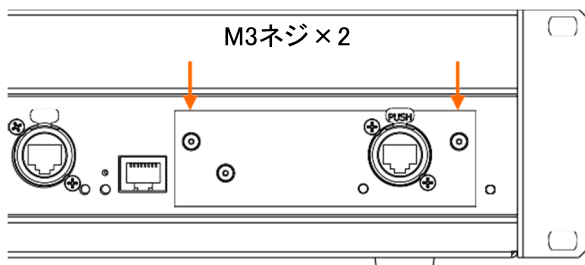


MADI: MADI(48kHz)を介して他のシステムと接続するオプションカード。



Link1 Inを使用してME-Uは、受信MADIストリーミングから同期します。

- AUX BNCとMADI Link2は、このアプリケーションでは動作しません。



カードをスライドさせてコネクタに差し込みます。

6. ME-Uの接続

6.1 出力ポートの接続

ME-U出力ポートは、Allen&Heath ME製品のものに接続するためのものです。

- ME-U出力ポートを他のミキサーや機器に接続しないでください。

各ME-U出力ポートをME-1またはME-500ミキサーのLink Inポートに接続します。

- 各ポートは、1つのMEミキサーに電源を供給できます。デジチェーンでミキサーを接続する場合、電源が供給されるのは最初のミキサーのみです。

6.5 LANケーブル

MEミキサーとの接続は、STP/FTP CAT5e以上のシールド・ツイストペアLANケーブルをご使用ください。フォイルシールドと編組シールドを両方備えたケーブルは干渉に強く、概して丈夫です。芯線が「より線」のケーブルは、ねじったり繰り返し巻いたりしても比較的損傷しにくい構造です。

ME-Uは、接続の保護と信頼性を確保するために、NEUTRIK社製イーサコンレセプタクル(ロック付)を採用しています。ケーブル側にもNEUTRIK社製NE8MX6タイプが取り付けられたケーブルの使用をおすすめします。

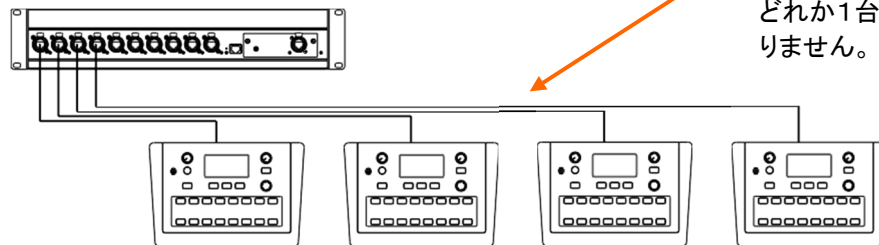
※最大ケーブル長、100m以内(ケーブル性能、環境による)。

安定した動作のために、ケーブル長は、必要以上に長くしない事をおすすめします。



6.2 ME-1の平行接続

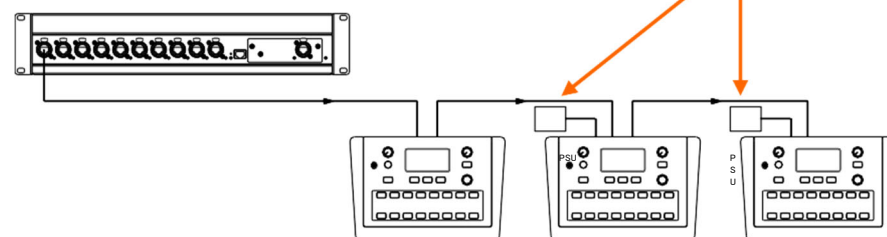
最大10台のMEミキサーをそれぞれ独立したLANケーブルで接続します。



各MEミキサーは、LANケーブルからPoE電源を供給します。電源アダプターを使用する必要はありません。どれか1台のMEミキサーの接続を外しても他に影響はありません。

6.3 ME-1のデジチェーン接続

どのポートからでもMEミキサーのデジチェーン接続が可能です。

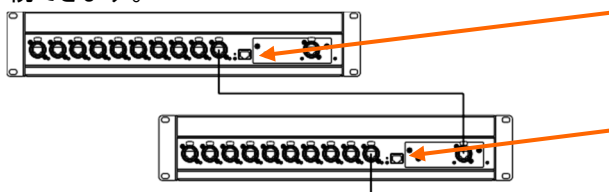


チェーン内の最初のMEミキサーは、LANケーブルからPoE電源を供給されます。

チェーン内の他のMEミキサーは、電源アダプターを使用してください。1台のMEミキサーのプラグを抜くと、以降のミキサーは接続から切り離されます。

6.4 ME-Uハブのリンク

ME-Uハブをリンクして、より多くのMEミキサーに接続できます。



1台目のME-Uの任意の出力ポートを、次のME-Uの入力ポートに接続します。

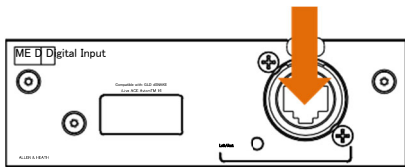
最初のME-Uハブのセットアップアプリケーションを使用して、名前とステレオリンクを設定します。受信した名前とステレオリンクは、次項のME-Uハブのセットアップアプリケーションをご利用ください。

6.6 入力ソース:

dLive、SQ、Qu、AR2412、AB168、GLD(旧製品)

これらのポートのいずれかをME-Dに接続します:

dLive MixRack	MEポート
SQ	SLinkポート
Qu	dSNAKEポート
AR2412	MONITERポート
AR2412/AB168	EXPANDERポート
AB168	EXPANDERポート



- 96kHz DX Expanderへの接続はサポートされていません。

dLive、SQ、Qu、GLD(旧製品)が送信できる項目:

- 40のオーディオチャンネル
- チャンネル名
- ステレオリンク情報

✓ =有効
× =利用不可

ME-Uセットアップアプリケーション:

Received namesとstereo links ✓ Manual
namesとstereo links ✓ iLive旧製品
Source Mode × (オフにする)

dLiveのI/O ME画面を使用してアサインとステレオリンクを設定します。

SQのI/O, Outputs ME画面を使用して、アサインします。ステレオチャンネルは自動的にリンクされ、ステレオペアとしてME-1に提示されます。

QuのSetup/Output Patch/Monitor画面でアサインします。ステレオソースおよびリンクされた入力チャンネルは、自動的にリンクされ、ステレオペアとしてME-1に提示されます。

GLD(旧製品)のI/O のMonitor画面でME-1Modeを選択し、チャンネルをアサインして、ステレオリンクを設定します。

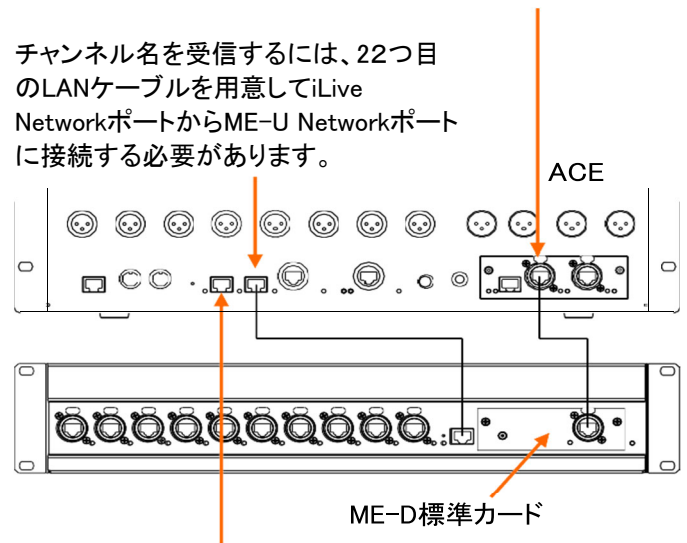
6.7 入力ソース:iLive ACE(旧製品、旧規格)

標準的なME-D入力カードを使用します。

MixRack Port BからiLive ACEを接続します。

- MixRackサーフェイスリンクACEを使用しないでください。

チャンネル名を受信するには、22つ目のLANケーブルを用意してiLive NetworkポートからME-U Networkポートに接続する必要があります。



ME-Uをセットアップするコンピューターを任意のiLive Networkポートに接続

1ケーブルのみ使用-ACE:

- 40のオーディオチャンネル
- チャンネル名、リンク情報なし

2本のケーブルを使用する-ACEおよびネットワーク:

- 40オーディオチャンネル
- チャンネル名
- ステレオリンク情報

ME-Uセットアップアプリケーション:

Received namesとstereo links ✓
Manual namesとstereo links ✓
iLive Source Mode ✓ (オンにする)
リストから「iLive MixRack」を選択

iLiveのOutputs/Port B画面で、40系統のチャンネルソースをアサインします。

- Port BのACE出力21-60をMEチャンネル1-40にマッピングします:

PortB	Ch21=ME	Ch1
PortB	Ch22=ME	Ch2
PortB	Ch23=ME	Ch3

PortB	Ch60=ME	Ch40

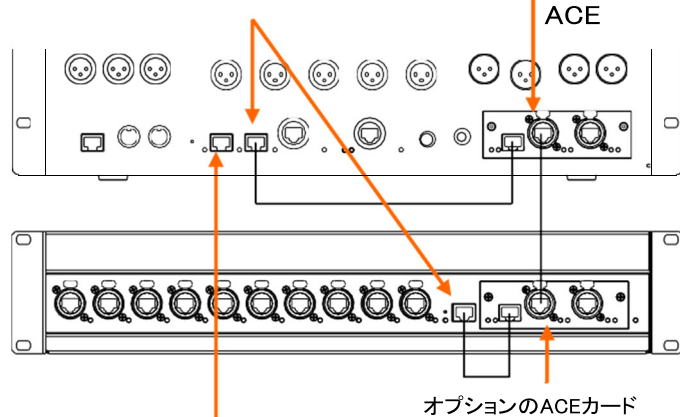
6.8 ME-U ACEカード(旧製品)経由のiLive

ME-UでオプションのACEカードを使用します。

MixRack Port BからiLive ACEを接続します。

- MixRackのサーフェイスリンクACEを使用しないでください。

チャンネル名を受信するには、下図のように、2本のジャンパーケーブルを使用して、ACE接続でiLiveネットワークをブリッジする必要があります。



ME-Uをセットアップするコンピューターを任意のiLive Networkポートに接続

ネットワークブリッジなし:

- 40オーディオチャンネル
- チャンネル名、リンク情報なし

ネットワークブリッジあり:

- 40オーディオチャンネル
- チャンネル名
- ステレオリンク情報

ME-Uセットアップアプリケーション:

Received namesとstereo links ✓

Manual namesとstereo links ✓

iLive Source Mode ✓ (オンにする)

リストから「iLive MixRack」を選択

iLiveのOutputs/Port B画面を使用して、40系統のチャンネルソースをアサインします。

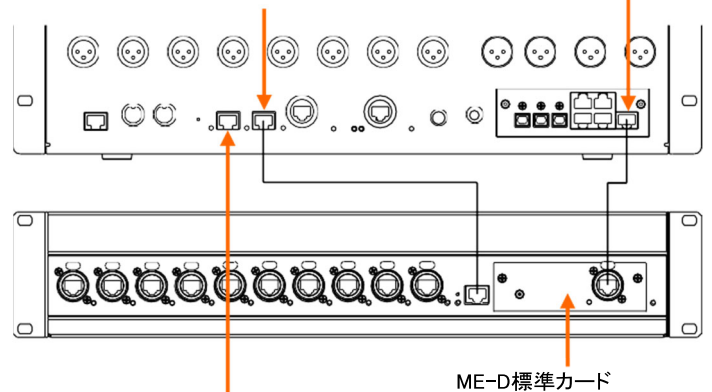
- Port BのACE出力1-40をMEチャンネル1-40にマッピングします:

6.9 入力ソース:iLive mixer MMO(旧製品)

標準的なME-D入力カードを使用します。

iLive Port B MMOカードのAviom®out

チャンネル名を受信するには、2本目のCat5ケーブルをiLive NetworkポートからME-U Networkポートに接続する必要があります。



ME-Uをセットアップするコンピューターを任意のiLive Networkポートに接続

ケーブル1本のみ使用: Aviom®:

- 16オーディオチャンネル
- ステレオリンク情報、チャンネル名なし

2本のケーブルを使用する: Aviom®およびNetwork:

- 16オーディオチャンネル
- チャンネル名
- ステレオリンク情報

ME-Uセットアップアプリケーション:

Received namesとstereo links ✓

Manual namesとstereo links ✓

iLive Source Mode ✓ (オンにする)

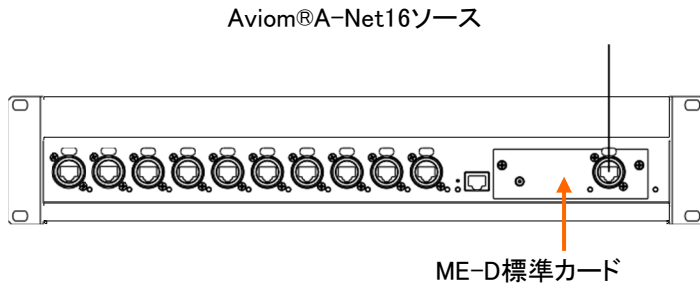
リストから「iLive MixRack」を選択

iLiveのOutputs/Port B画面を使用して、16系統のAviom®ソースおよびリンクをアサインします。

6.10 入力ソース: Aviom®A-Net16

標準的なME-D入力カードを使用します。

- ME-Uを使用して、ME-1およびME500ミキサーのみを接続してください。この接続は、Aviomミキサーを意図したものではなく、互換性也没有ありません。



送信可能なAviom®ソース:

- 16オーディオチャンネル
- ステレオリンク情報、チャンネル名なし

ME-Uセットアップアプリケーション:

Received names ✕

Received stereo links ✓

Manual namesとstereo links ✓

iLive Source Mode ✕ オフにしてください。(旧製品)

ME-UはAviom®チャンネル1-16からオーディオとリンク情報を取得します。

6.11 入力ソース: その他のシステム

M-DANTE (DANTEカード) または、M-MADI2-A (MADIカード) を取り付けて、他のミックスシステムをME-U(48kHzのみ)に接続します。

送信可能なソース:

- 最大40のオーディオチャンネル
- ステレオリンク情報なし
チャンネル名なし

ME-Uセットアップアプリケーション:

Received namesとstereo links ✕

Manual namesとstereo links ✓

iLive Source Mode ✕ オフにしてください。(旧製品)

オプションカード入力1~40は、ME-1またはME-500ミキサーに送るために使用します。

7. ME-Uの起動

電源コンセントに接続し、リアパネルのON/OFFスイッチを押してME-Uの電源を入れます。

フロントパネルの青色の電源インジケータが点灯します。

ME-Uが起動するまで待ちます。これには約20秒かかります。システムが起動すると、Output Portインジケータが一度赤色に点滅します。何も接続されていない場合、インジケータはオフになります。ME-1またはME-500を接続すると、インジケータは黄色に点滅します。

8. ME-Uのセットアップ

ME-Uのセットアップは、ネットワークポートに接続したPCまたはMacコンピューターを使用します。ME-Uに内蔵されているセットアップアプリケーションは、一般的なワイヤレスルーターの設定方法と同じように、コンピューター上のウェブブラウザを使用して操作します。

設定可能な機能:

- ME-Uファームウェアの表示とアップデート
- ユニット使用温度の表示
- 現在の入力ソース表示
- オーディオクロック同期ステータスの表示
- ポートリンクとPoEステータスの表示
- ME-Uネットワーク設定の変更
- name/link Source Mode(iLiveのみ)の選択
- iDR MixRack(iLiveのみ)の選択
- 40系統のチャンネル名表示と編集
- チャンネルステレオリンクの表示と編集

設定はME-Uに保存され、起動時に呼び出されます。

8.1 ネットワークアドレスの設定

LANケーブルでコンピューターのネットワーク(LAN)ポートとME-Uフロントパネルのネットワークポートを接続します。

コンピューターがME-Uと通信するには、互換性のある固定(Static)TCP/IPアドレスが必要です。DHCPがオフの状態、コンピューターのLANポートが有効になっていることを確認します。

固定IPアドレスを設定します

IPアドレス= 192.168.1.nnn

サブネットマスク= 255.255.255.0

nnnの部分は1~254の間(40以外)で設定します。

デフォルトのME-Uネットワークアドレス:

IPアドレス=192.168.1.40

サブネットマスク=255.255.255.0

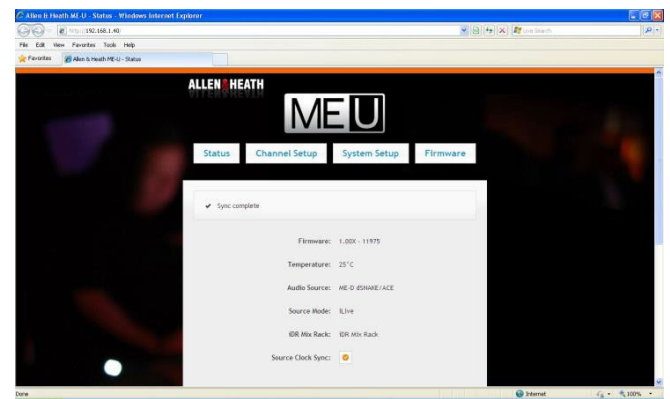
この設定が変更されていて不明な場合は、互換性がなく、コンピューターが接続できない可能性があります。この場合、フロントパネル上のリセススイッチを使用してME-Uネットワーク設定をリセットしてください。

8.2 セットアップアプリケーションの起動

コンピューターのWebブラウザを起動します。

ME-U IPアドレスをブラウザのアドレスバーに入力します: 192.168.1.40

コンピューターが接続され、ME-U Setup Applicationのステータスページが表示されます。



8.3 ME-Uネットワーク設定のリセット

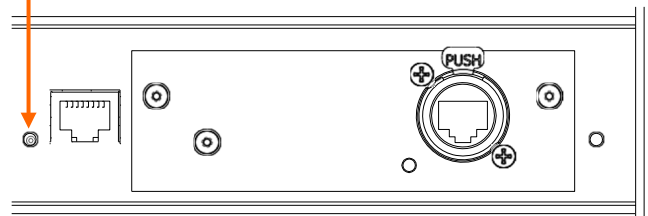
コンピューターの接続に失敗した場合は、ME-Uネットワーク設定のリセットをお試しください:

ME-Uの電源を切ります。細い棒を使用して、凹んだResetスイッチを押します。スイッチを押しながら電源を入れ直し、起動中にスイッチを20秒間押し続けます。以下の設定にME-Uネットワークをリセットします:

IPアドレス=192.168.1.40

サブネットマスク=255.255.255.0

デフォルトゲートウェイ=192.168.1.254



8.4 ステータスページ

ALLEN & HEATH
ME-U

Status Channel Setup System Setup Firmware

✓ Sync complete

Firmware: 1.00G - 12031
Temperature: 28°C
Audio Source: ME-D dSNAKE/ACE
Source Mode: iLive
iDR Mix Rack: iDR Mix Rack
Source Clock Sync:

Port	Ethernet Linked	PoE Active
1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
5	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Ethernet Linked: ME-1またはME-500ミキサーへのネットワーク接続が認識された場合、チェックマークが表示されます。

PoE Active: LANケーブルを介してME-1またはME-500ミキサーにPoE電源を供給している場合、チェックマークが表示されます。

このページは、ME-Uに関する情報を表示します。このページで、ハブの入力ソース、および接続されているユニットの現在のステータスをチェックできます：

Firmware: ME-Uで実行されている現在のオペレーティングファームウェアです。

- Allen&HeathのWebサイトを参照して、利用可能な最新バージョンを確認してください。

Temperature: ユニット内部で測定された現在の動作温度です。

- 値が40°C以上になっている場合、ME-U本体の周りに十分な通気スペースの有無、ファンの空気流の有無、また背面の通気口に妨げがないか確認してください。

Audio Source: 入力カードの種類と、ME-Uに接続されているソースの情報を表示します。取り付けられている入力カードとソースによって、以下のように表示されます：

- ME-D dSNAKE/ACE
- ME-D Aviom®(Aviomソースを認識)
- Dante Option Card (M-DANTEカード装着時)
- MADi Option Card (M-MADIカード装着時)
- EtherSound Option Card (旧製品)
- ACE Option Card (旧製品)

Source Mode: ME-UがiLive (旧製品)で動作するように設定されている場合、iLiveと表示されます。このモードでは、ME-UはiLiveからチャンネル名およびステレオリンク情報を見つけようとしています。

- iLiveモードは、iLiveシステムで動作している場合のみ設定する必要があります。他のすべてのソースで運用する場合は、System Setupページを使用してこのモードをオフにしてください。

iDR Mix Rack (旧製品): ME-UがiLiveで動作するように設定したときに接続しようとするユニットの名前を表示します。iLiveモードをオフにした場合は、この情報は表示されません。

Source Clock Sync: ME-Uオーディオクロックがソースに同期している場合、チェックマークが表示されます。

8.5 System Setupページ

The screenshot shows the 'ME-U IP Settings' section with the following fields:

- IP Address: 192.168.1.40 (Default)
- Net Mask: 255.255.255.0
- Default Gateway: 192.168.1.254
- Host MAC Address: 00:04:c4:00:8b:48
- dSNAKE MAC Address: 00:04:c4:00:8b:49

The 'Source Mode' section has the 'iLive' checkbox checked, with a note: '(read channel names and stereo links from iDR Mix Rack)'. Below it is the 'iDR Mix Rack Selection' section with a 'Found Units' list box and an 'iDR Mix Rack' dropdown menu set to 'iDR Mix Rack' (Default). A 'Sync complete' message is visible at the bottom.

設定を変更した場合は、Saveをクリックして確定するか、Cancelをクリックして以前の設定に戻します。

This close-up shows the 'iDR Mix Rack' dropdown menu with 'iDR Mix Rack' selected and a 'Default' button. Below it is a yellow warning bar that says 'Unsaved changes.' with 'Cancel' and 'Save' buttons.

このページを使用して、ME-Uシステム設定にアクセスします。

ME-U IP Settings: 現在のネットワークのスタティックTCP/IP設定を表示します。別のネットワーク経路でME-Uにアクセスする場合は、これらを変更できます。

フロントパネルのResetスイッチ(埋め込み型)を使用してデフォルトの設定に復元することが可能です。

IPアドレス=192.168.1.40サブネットマスク
=255.255.255.0デフォルトゲートウェイ=192.168.1.254

- iLive(旧製品)からネットワークポートを使用して名前を受信する場合は、ME-UとiLiveのネットワークアドレスに互換性があることを確認します。
- これらの設定方法が不明な場合は、IT管理者に問い合わせてください。

Host MAC Address: これはME-Uハードウェアに割り当てられた永続的なアドレスです。

dSNAKE MAC Address: 入力ポートで検出された入力カードに割り当てられた永続的なアドレスです。

Source Mode: iLiveシステム(旧製品)でME-Uを使用し、ネットワークを接続して名前とステレオリンクのステータスを受信する場合は、iLive Modeボックスをチェックします。

- iLiveシステムに接続していない場合は、ボックスにチェックされていないことを確認してください。チェックが入っている場合、ME-Uは接続されたシステムから名前を見つけることができなくなる可能性があります。

iDR Mix Rack Selection: Found Unitsリストには、ネットワーク上で検出されたiDRラック類(旧製品群)が表示されます。接続先のラックを選択します。

iDR Mix Rackボックスには、ME-Uが起動時に探すiLive iDRラックの名前が表示されます。

この設定は、iLive Source Modeが選択されている場合のみ使用できます。

Default: 工場出荷時のiDR Mix Rack名に戻します。

8.6 Channel Setupページ

この表示例は、名前とステレオリンクデータが受信されていないことを示しています。これは、入力が接続されていない場合、またはチャンネルデータを送信しないソースを使用している場合の電源投入後のデフォルト状態です。

設定を変更した場合は、Saveをクリックして確定するか、Cancelをクリックして以前の設定に戻します。

一部のAllen&Heathデジタルミキサーは、チャンネル名とステレオリンクステータスを ME-U に送信して、接続されているすべての ME-1 および ME-500 ミキサーに分配できます。

iLive(旧製品): iLiveネットワークポートからME-Uネットワークポートに接続した追加ケーブルを介してデータが送信されます。

dLive,SQ,Qu,GLD(旧製品): データは、オーディオと共にLANケーブルを介してME-D入力に送られます。

奇数/偶数チャンネルは、リンクできるため、ME ミキサーは 2 つのチャンネルを自動的にリンクして、1 つのキーにアサインされたステレオ操作を行います。

このページを使用して、10個のME-U出力ポートに送信された40個のオーディオチャンネルの名前とステレオリンクのステータスを表示、編集します。

ページは主に2つの列で構成しています。

Received: ソースから受信したチャンネル名とステレオリンクのステータスを表示します。何も受信されていない場合、リストは空白です。

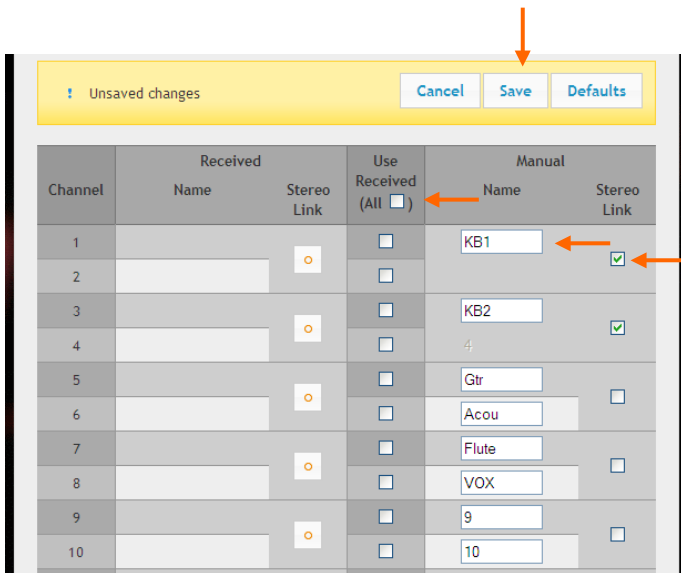
● ME-Uは、例えばミキサーがオフにされたときや、ME-U入力ケーブルが抜かれたとき、最後に受信された設定を記憶します。受信した設定を消去して更新する場合は、ME-Uを再起動してください。

Manual: この列は、チャンネル名を手動で入力し、ステレオリンクする奇数/偶数ペアを選択できます。

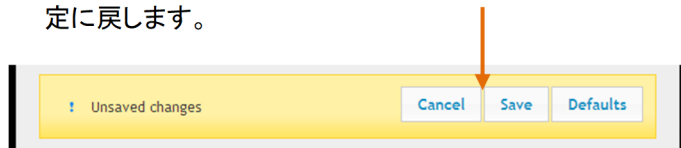
Use Received: ソースから受け取った名前とリンクステータスを使用するには、このボックスにチェックを入れます。手動で入力したデータを使用するには、ボックスのチェックを外します。各チャンネルにチェックマークを付けるか、上部の「ALL」にチェックマークを付けて、40チャンネルすべてに反映させます。

Sync: ME-Uは数秒ごとに確認を行い、ミキサーで割り当てられた名前と表示するリンクのリストを更新します。

Default: クリックすると、すべてのチャンネル名が番号1~40にリセットされ、すべてのステレオリンクが消去され、すべてのチャンネルが受信データを使用するように設定されます。



設定を変更した場合は、Saveをクリックして確定するか、Cancelをクリックして以前の設定に戻します。



マニュアル名とステレオリンク

ソースがチャンネルデータを送信しない場合は、40チャンネルの名前とステレオリンクを手動で入力できます。

Use Received欄にある(All)ボックスをクリックし、チェックを外します。

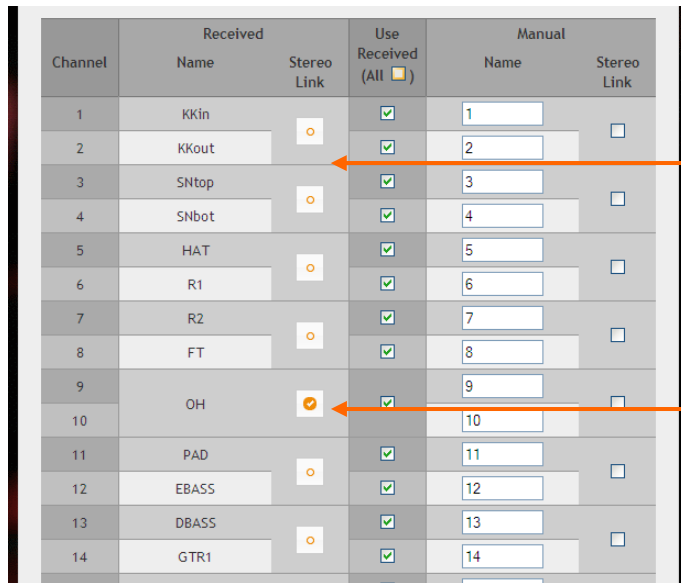
Nameボックスをクリックし、最大6文字の名前を入力します。ME-1ミキサー画面に表示される名前となります。

ステレオキーボードの左右など、リンクするチャンネルのStereo Linkボックスをクリックします。リンクされたチャンネルの名前を一番上のNAMEボックスに入力します。リンクされたチャンネルは、下位のNAMEボックスが無効になります。

名前とリンクの消去

Defaultsをクリックすると、すべてのマニュアル名が番号1~40にリセットされ、すべてのステレオリンクがオフになります。これにより、すべてのチャンネルが受信データを使用するように設定されます。

これを使用して、マニュアル名を入力する際のスタートポイントとして、名前とリンクをリセットすることができます。この場合、Use Receivedボックスのチェックを外す事を忘れないでください。



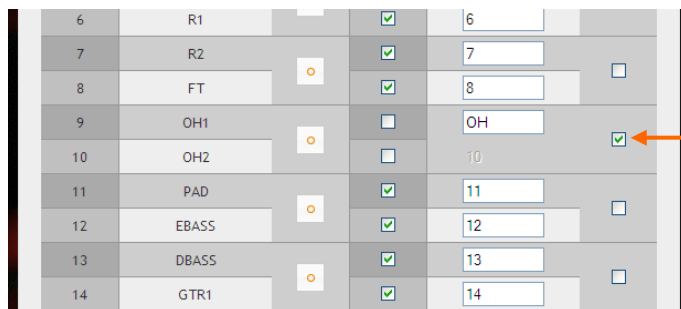
受信名を手動で編集する

受信データとマニュアルデータを組み合わせ使用できます。

この例では、入力ソース(例えば、dLive)から受信された名前およびステレオリンクステータスを示します。

名前は、ソースのミキシングコンソールでアサインされた名前です。

ここで、CH9とCH10は、MEミキサーでのステレオ動作のためにリンクされています。この場合、1つの名前のみが使用されます。

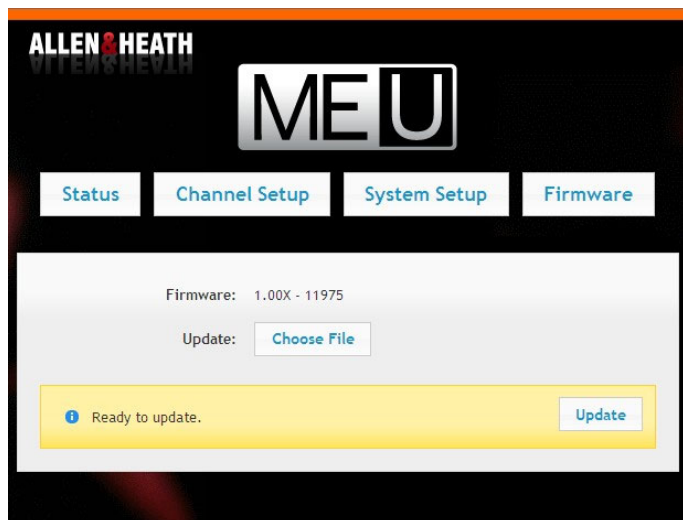


この例では、MEパーソナルミキシングの要件に合わせて、受信した名前とステレオステータスの一部を編集する方法を紹介します。

ここでCH9および10は、2本のオーバーヘッドドラムマイクを、MEミキサーでステレオペアとして組み合わせる形を手動で編集します。

2つのUse Receivedボックスのチェックを外します。

8.7 ファームウェアページ



このページを使用して、ME-Uオペレーティングファームウェアをアップデートします。

- Allen&HeathのWebサイトを参照して利用可能な最新バージョンを確認し、ファームウェアのリリースノートをお読みください。

Firmware(ファームウェア):ME-Uで現在実行されているファームウェアバージョンが表示されます。

Choose File:このボタンをクリックして、コンピューター上のフォルダーを参照し、ロードするファームウェアファイルを選択します。ファイルの形式は次のようになっています(参考例):

AllenHeathME-U_V1.00-Rev12345.uImage

ファームウェアをアップデートする

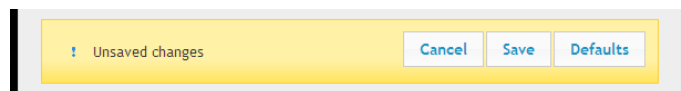
Updateボタンをクリックして、ファームウェアアップデートを開始します。完了するまでに最長で6分程度かかることがあります。

- **ファームウェアの更新中は、電源を切らないでください。**

完了したら、Continueボタンをクリックします。これにより、ME-Uユニットが自動的に再起動されます。

8.8 セットアップを終了する

ME-Uに行った変更を保存したことを確認します。これらの設定は、ME-Uに保存されます。



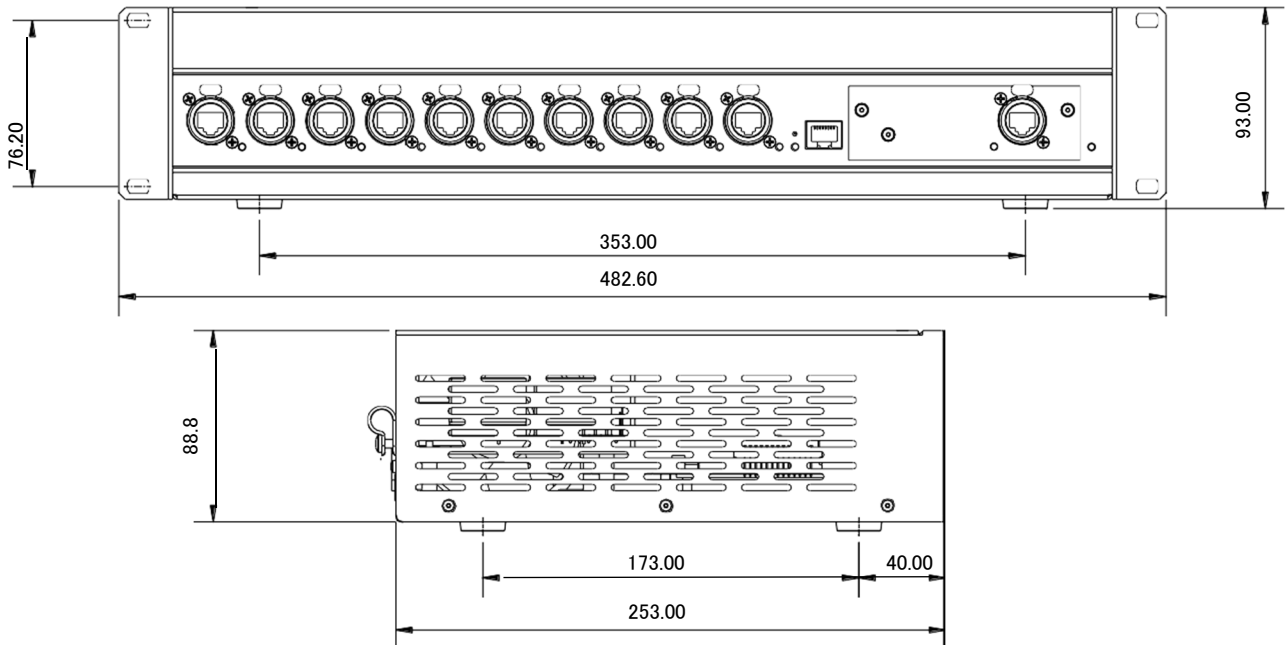
ME-UのIPアドレスを変更した場合は、次回セットアップアプリケーションを開くときに必要になるため、必ず記録をしてください。

Setup Applicationを終了するには、Webブラウザを閉じます。

セットアップが完了したら、コンピューターをME-Uから取り外すことができます。ME-Uの操作にコンピューターは必要ありません。コンピューターは、セットアップとステータスの表示のためだけに使用します。

9. ME-U仕様

9.1 寸法



9.2 仕様

入力: 下記カードによる。

最大40ch、48kHzデジタルオーディオ。

ME-D(出荷時、標準装備) dSNAKE, ACEに対応。
Aviom®A-NET®16互換、16chに対応。

M-DANTE(オプション)

48kHz, 64×64、DANTEネットワークオーディオ・インターフェイスカード。

M-MADI2-A(オプション)

48kHz, 64MADIインターフェイスカード

※AUX(中央)とMADI Link2ポート(右側)は、ME-Uでは動作しません。

出力: 10ポート

ラッチロック付きEther Conレセプタクル

全出力ポートにPoE(802.3af Type1)対応

ネットワークポート: Ethernet TCP/IP

システムセットアップ及びiLive(旧製品)のチャンネルデータ受信

Setup: PCまたはMacのWebブラウザ接続による設定(下記項目)。

受信または手動によるチャンネル名。

受信または手動による奇数/偶数ステレオリンク。

iLive(旧製品) ネーム/リンクを受信するためのiLive 用モード。

Pアドレス(工場出荷時)=192.168.1.40

サブネットマスク=255.255.255.0

デフォルトゲートウェイ=192.168.1.254

電源: 100~240V AC50/60Hz

消費電力: 250W

PoE給電: 802.3af(Type1) : 各出力15.4W

寸法(W×H×D): 482.6×93×253 ※突起部含まず。Hはプラスチック足付きの高さ、外した場合は88.8mm。EIA2U。

質量: 約4.6kg

9.3 詳細情報

MEパーソナルミキシングシステムについての参考例は、Allen&Heathのホームページでもご覧いただけます。

www.allen-heath.com

- ME-Uのアプリケーション
- MEシステムのサポート情報
- 最新のME-Uオペレーティングファームウェア
- 最新のME-1およびME-500ミキサーファームウェア

ALLEN & HEATH

- この製品を安全にお使いいただくために、設置・運用には十分な安全対策を行ってください。
- 商品写真やイラストは、実際の商品と一部異なる場合があります。
- 掲載内容は発行時のもので、予告なく変更されることがあります。変更により発生したいかなる損害に対しても、弊社は責任を負いかねます。
- 記載されている商品名、会社名等は各社の登録商標、または商標です。



ヒビノインターサウンド株式会社

〒105-0022 東京都港区海岸2-7-70 TEL: 03-5419-1560 FAX: 03-5419-1563
E-mail: info@hibino-intersound.co.jp <https://www.hibino-intersound.co.jp/>

2023年12月版